

教育臨床心理実践センターだより

教育臨床心理実践センター発行
2018年5月 第21号

本年度の主要な取り組み

教育臨床心理実践センター長 本間友巳

教育臨床心理実践センターでは、本年度も、学校や地域への教育臨床的支援を積極的に展開していく予定です。以下に、主要な取り組みの概略を述べたいと思います。

1. 教育委員会・学校への支援

京都府立清明高校に、教育臨床心理学や教育・発達心理学を学んでいる大学院生を「学生サポーター」として派遣します。清明高校は、3年前に開校した、昼間2部制の単位制普通科という京都府にはこれまでになかった全く新しいタイプの学校です。義務教育段階で不登校を経験した生徒、発達障がいのある生徒などが多く入学しており、教育臨床的な支援が強く求められている高校です。私自身もスーパーバイザーとして、清明高校への支援に関わっていきます。

また、「いじめ防止対策推進法」に基づいて設置されている京都府教育委員会「いじめ防止対策推進委員会」の一員として、本年度も京都府のいじめ対策への支援を行っていきます。

2. 地域への支援

センター内の「心理教育相談室」では、地域の子ども・保護者・学校（附属学校含む）などへの教育臨床的支援の一環として、平成12年度から相談活動を行ってきました。昨年度は、年間で実件数80件（延べ回888回）の相談を受けました（表1）。20年近い相談室活動を通して、本相談室は地域から信頼される相談機関になっています。

3. 附属学校園への支援

附属学校園の子どもとその保護者及び教職員への支援のために、平成23年度から臨床心理士の資格をもつ「スクールカウンセラー（SC）」を派遣しています。昨年度は、3名のSC（附属桃山小学校・附属幼稚園1名、附属桃山中学校・附属高等学校1名、附属京都小中学校1名）を、週1回程度、各学校に派遣しました（表2）。本年も派遣を継続し、附属学校園への支援を行っていきます。

最近では個別のカウンセリングのみならず、不登校やいじめ、発達障がいなどをテーマとした教職員向けの「校内研修」や、子どもや保護者を対象とした「啓発活動」にもSCが活用されており、充実した活動が展開されるようになってきました。

表1 平成29年度 京都教育大学 心理教育相談室 相談件数

	不登校	いじめ	非行・しつけ	学業不振	進路・適性	発達の遅れ	対人関係	行動性格情緒	その他	計
相談件数	12	0	0	5	3	2	15	37	6	80
延べ件数	102	0	0	49	61	6	181	373	116	888

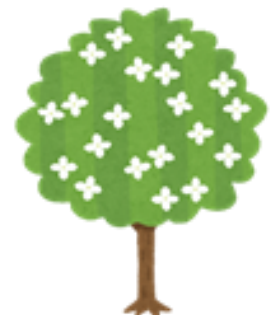
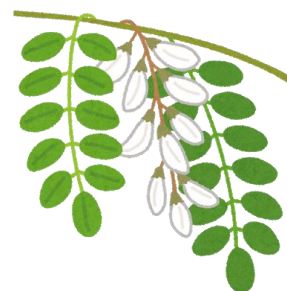


表2 平成 29 年度 京都教育大学 附属学校園 相談件数

桃山地区スクールカウンセラー（岩瀬佳代子 附属桃山中学校・附属高等学校担当〔年 40 回派遣〕）
平成 29 年度（4 月～3 月）相談全体

	来談者 カウンセリング	教職員 コンサルテーション
実相談件数	54	15
延べ相談件数	201	67



桃山地区スクールカウンセラー（西山智栄子 附属桃山小学校・附属幼稚園担当〔年 35 回派遣〕）
平成 29 年度（4 月～3 月）相談全体

	来談者 カウンセリング	教職員 コンサルテーション
実相談件数	32	40
延べ相談件数	95	96

京都地区スクールカウンセラー（荒井久美子 附属京都小中学校担当〔年 34 回派遣〕）
平成 29 年度（4 月～3 月）相談全体

	来談者 カウンセリング	教職員 コンサルテーション
実相談件数	19	54
延べ相談件数	80	125

心理教育相談室について

個人・家族・学校などの悩みや困った問題について心理的援助を行っています。まずは電話にて、お気軽にご連絡ください。

075-644-8824（月曜～金曜、午前 10 時～午後 4 時）

公開講演会の案内

日時：平成 30 年 7 月 31 日（火）16 時～18 時

場所：京都教育大学 教育創生リージョナルセンター機構

教育臨床心理実践センター 1 階 教育臨床実習室

演題：「洛友中学校の取り組みの概要」（仮）

講師：京都市立洛友中学校長 間野郁夫先生

参加費：無料 定員：50 名 対象：学生、一般

教育臨床心理実践センター・スタッフ

専任教員（センター長）教授 本間友巳 非常勤カウンセラー 岩井秀世（月曜）

兼任教員 教授 森孝宏 教授 内田利広 教授 小松貴弘 准教授 西村佐彩子

相談補佐員 荒井久美子（月・火曜） 與那嶺のどか（水曜） 坂口美江（木・金曜）